

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：歴史と民俗の博物館

担当名：総務担当

内線：

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B82	歴史と民俗の博物館管理運営費			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	歴史と民俗の博物館費		
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	埼玉県立歴史と民俗の博物館条例			宣言項目	06	次代を担う人財育成		
					分野施策	061349	文化芸術の振興			
1 事業の概要 博物館の基本的な管理運営、歴史及び民俗に関する資料の収集、保管及び調査研究を行い、その活用を図るため、常設展示や特別展・企画展、博物館ならではの多様な体験プログラムを実施する。 (1) 歴史と民俗の博物館管理運営費 △124千円 節約による執行残 (2) 展示事業費 △799千円 節約による執行残 (3) ゆめ・体験ひろば事業費 △98千円 節約による執行残 (4) 博物館資料収集管理費 △98千円 節約による執行残				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 歴史と民俗の博物館管理運営費 庶務・会計・施設設備・博物館協議会等の基本的管理運営 21,193千円 イ 展示事業費 常設展示・特別展2回・企画展3回及び民俗芸能講習会・民俗工芸実演会の実施 43,568千円 ウ ゆめ・体験ひろば事業費 ものづくり等の体験プログラムの実施 4,281千円 エ 博物館資料収集管理 資料の収集・整理・保存・修復及び調査研究 5,888千円 (2) 事業計画 ア 庶務、会計、施設整備の管理及び博物館協議会の開催 イ 常設展示の運営及び平成29年度の特別展・企画展の開催、平成30年度特別展の開催準備 ウ 民俗芸能講習会及び民俗工芸実演の実施 エ ゆめ・体験ひろばの管理、体験事業等の開催 オ 資料の収集・整理・保存・修復及び調査研究 (3) 事業効果 ア 郷土埼玉の歴史や民俗文化への理解、県民の教育、学術、文化の発展に寄与することができる。 イ 子供や大人がそれぞれの立場で体験学習に参加することにより、異世代間のふれあい、社会参画、学習意欲の向上が期待できる。 ウ 博物館資料の収集、恒久的保存を可能にする。 エ 入館者数 平成25年度：119,953人 平成26年度：135,221人 平成27年度：146,203人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携事業 ア ボランティア・博物館クルー・友の会との協働。 イ 地元企業・施設と連携した広報活動等の実施。(ミュージアムヴィレッジ大宮公園連絡協議会事務局) ウ 学校との連携。(教科書に則した体験学習や展示解説の実施、職場体験の受入) (5) 補正予算の概要 ア 展示事業費：節約による執行残						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×33人=313,500千円										
				財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
予算額		使用料・手数料	財産収入	諸収入						
決定額	△1,119							△1,119	73,811	
現計額	74,930	9,921	3,100	4,362				57,547		